

しあさい



津軽海峡、初夏の岩屋海岸

CONTENTS

- 特集記事 シリーズ② ふるさと見聞録 はやかけだい 早掛平を訪ねて……………2
- 明日へのかけはし:東通村ソフトテニス協会……………4
- クローズアップ こんにちは元気さん:井戸端 いどばた 肇さん はじめ……………4
- ファイト!わんぱく:東通小学校陸上部……………5
- 地元の特派員レポート:長谷川 はせがわ 愛月さん あづき / 石田 いした 恵美子さん えみこ……………6

vol.24
2021年6月発行

子育て世代の人口が増加!

はやかけだい

早掛平を訪ねて



新しいことに挑戦し、子どもたちの声が聞こえる地域!

桜の名所として知られる、むつ市の早掛沼はやかけぬまに隣接している地区が、早掛平地区です。1967年(昭和42年)、大利地区から分村しました。大利で生まれた次男や三男が、早掛平地区内の共有地にある山や松林を伐採し、1人あたり4反歩~9反歩の田畑をもらって家を建てたそうです。

当時は米の価格が高かったので、主な産業は米作り。ほとんどの人が林業などと兼業していました。また、多くの家で農耕馬を繁殖させて子馬を販売したり、牛や豚の肥育繁殖も行っていました。やがて、建設業に携わる人も出てきて、現在は地区の多くの人が企業に勤めています。

地区を見守る「早掛平稲荷神社」は、分村と同時しらやまひめに建立。大利の「白山姫神社」の分霊も合祀しています。早掛平稲荷神社では、3月20日に春祭り、11月9日に宵宮祭、翌10日に秋祭りが行われます。奥の院には権現様も祀られています。



早掛平稲荷神社

集落の活動としては、地区会と氏子総代が一丸となり、神社のお祭りを開催しています。また、地区会では一斉清掃や草刈り、道端の花植えのほか、成年会と合同で夏に盆踊りを開催しています。

成年会は、風雨をしのげるバスの待合所やログハウス風のごみ収集箱を作るなどのボランティア活動を行っています。

早掛平地区の自主防災会は、村内で最も早く発足しており、毎年子どもたちと一緒に防災訓練を行うなど、活発な活動を展開しています。

祖母会は、恐山の参拝や神社の花植え、墓地の草取りを行っています。

毎年、子育て世代が移住してきており、みんなで温かく迎えています。ここで育つ子どもたちが夢と希望を持てるよう、地域で大切に見守っています。



成年会が作ったバス待合所



早掛平集会施設

「白桜の郷」が完成!

旧集会所が老朽化していたことから、若い人たちも安心して活用できるように、昨年から新築工事を行っていた早掛平集会施設「白桜の郷」が完成。

4月には落成記念式典が行われ、地区をあげて完成を喜びました。当日は、大利地区から大利敬神団おおいけいしんだんが出席し、早掛平稲荷神社に祀られている権現様で、新築した建物の安全を祈禱する儀式「屋固めやがた」を行いました。



大利敬神団の皆さん



完成した早掛平集会施設「白桜の郷」

「白桜の郷」の名前は、神社と共に集落の発展を見守ってきた「白桜の木(田植え桜とも呼ばれるコブシ)」に因んで命名。早掛平を発展させてきた先人たちは、この木の白い花を見上げながら農作業に勤しんできたと言われており、当時の開拓精神を受け継ぐという思いも込められています。

地区会では「自主防災の拠点として、また盆踊りなど地域の人が集う場として、さまざまな活動に活用したい」と話していました。



落成記念式典の記念撮影



「屋固め」を行う大利敬神団

早掛平地区 会長 なかの よしのぶ 中野 義信さん(66歳)

早掛平地区は、世帯数40戸、人口93人の集落です。私が小学生の頃は18戸でした。年々人口が増えてきている住みやすい地域です。

子どもたちの元気な声が聞こえる、活気のある集落の雰囲気大切に、誰もが未来に希望を持てる地域になるよう尽力したいです。

また、新しく完成した集会所が将来手狭になるほど、早掛平に住む人が増え、地区がもっと盛り上がるようお手伝いしたいです。



早掛平地区は、自主防災を率先して行っています。いざというとき、滞りなく安否確認を行えるよう読み仮名をつけた名簿を作成しています。また、防災訓練では人工呼吸や担架の使用方法を確認しているほか、集落の近くに川がないため防火水槽からのバケツリレーによる消火訓練も行っています。安全で住みやすい地区を維持するため、これからも活動を頑張りたいと思います。



早掛平地区 役員
さわはた のりお
沢畑 範夫さん(63歳)

早掛平は、新しいことにどんどん挑戦する地区です。人と人の心が繋がるよう、人が集う新しいイベントを企画し、みんなで仲間意識を持てるよう頑張りたいです。若い人がここに住んでよかったです。と思えるよう、また世界に羽ばたく人材が育つよう、環境作りを進めていきたいと思っています。



早掛平地区 副会長
なかむら あきよし
中村 昭芳さん(63歳)

明日への かけはし

東通村の頑張るグループを紹介

楽しみながら体力の向上を! [東通村ソフトテニス協会]

今から30年ほど前、「ソフトテニスプレーしてきた仲間で青森県民体育大会に出場しよう!」と結成された東通村ソフトテニス愛好会。2008年(平成20年)、東通村ソフトテニス協会となり、現在も活発に活動しています。

会員は年齢も職業も異なる15人。小学生から60代まで、毎月第1・第3土曜日に、東通中学校のテニスコートで練習に汗を流しています。

主な活動は、春のコート開きに始まり、6月下旬の「東通村スポーツフェスティバル」におけるソフトテニス大会

の運営、秋季大会や冬のインドア大会の開催のほか、中学校のソフトテニス部の指導にも出向いています。

2015年、「平成27年度青森県民体育大会『町民の部』」では、念願の優勝を果たしました。真賀勝彦会長は「この優勝は長年続けてきた仲間作りが実ったもの。大会のあとは毎回、東通牛のバーベキューで親睦を深めているんです。今後は中学生も含め技術の向上を目指したい」「ここでは、体力作りと異業種交流が楽しめます。ぜひ気軽に入会してみませんか」と呼びかけていました。



真賀勝彦会長

か」と呼びかけていました。

【お問い合わせ先】

東通村体育館 東通村ソフトテニス協会事務局 ☎0175-27-2200



東通村ソフトテニス協会の皆さん



ボレーの練習



東通中学校テニス部の指導



いざ練習試合スタート



お互い気持ちよい汗を流しました

村内で元気に活動する人を紹介!

元気さん

元気さん

減農薬栽培で
おいしい東通米を作る!

い ど ばた はじめ
井戸端 肇さん(62歳)

米作り農家の2代目として、会社勤めをしながら減農薬でおいしい東通米を作る、井戸端肇さんにお話を伺いました。

東通村鹿橋生まれの井戸端さんは、小学生の頃から米作りを手伝い、30代からはお父さんの跡を継ぎ本

格的に米作りを行ってきました。現在、家族で力を合わせ5町5反歩の水田で米作りを行っています。

一番のこだわりは、無農薬に近い減農薬栽培。土作りでは山の腐葉土を用い、苗も通常より太く育つよう一株の本数を減らしています。収穫する量は減りますが、米本来のおいしい味が引き出せるそうです。そのかいあって、井戸端さんの米は、村内外から人気を集めています。

米作りをしながら、会社にも勤めている井戸端さん。「元気の秘訣は、大好きな米作り。好きなことをしていると疲れないうし、家族で作っているから気も遣わない。7人の孫にうまい米を食べさせたいし、みんなに



おいしいと言われれば嬉しいんだ」と笑います。

初夏、井戸端さんの田んぼには、虫がたくさんやって来ます。「これからも研究を重ね、もっともっとおいしい米を作りたい」と意欲を見せていました。



家族総出で苗床作業開始



種籾の配分量をチェック



お孫さんもお手伝い



苗床をビニールハウスへ運搬



東通小学校陸上部

いつもにぎやかで元気いっぱい
の東通小学校陸上部。小学校で
は珍しい、公式の陸上競技場に用
いられる全天候型トラック「ター
タン」を最大限に生かして練習を
重ね、県大会に出場するなど成果
を上げています。

部員は4年生から6年生までの
40人。毎週火曜日と木曜日の放
課後、監督の齊藤香澄先生をはじめ
三條目泰樹先生、八戸秀男先生が、
自らの陸上競技経験を生かし指導
にあたっています。

練習では、正座などさまざまな
ポジションからスタートする「変
形ダッシュ」など、子どもたちが
楽しんで取り組めるオリジナリ
ティあふれるメニューを作成。

また、ボールを蹴ったり横に動
いたりいろいろな動きを覚えることで、
自由自在に体を動かす
能力を高めています。

部員全員の目標は、
自己ベストの更新。男
子部長で短距離が得意な
圓子凌輝君は「走
ることで新しい自分
になれる陸上が好き。
みんなをまとめ

楽しい部活にし
たい」と語ってく
れました。

女子部長で長距
離選手の上野心さん
は「もっとステ
キな部活にするた
めに、力を合わせ
て頑張りたい。長
距離が得意なので
いつか県民駅伝
に出てみたい」と意欲的です。

監督の齊藤先生は「競技力の向
上はもちろん、子どもたちが少し
でも陸上競技の楽しさを知り、陸
上競技を好きになるよう工夫し
ています。また、礼儀、感謝、思い
やりの心が育つようお手伝いし
たい」と話していました。



下半身や体幹を鍛えるランジトレーニング



ケガのないようしっかりとストレッチ



東通小学校陸上部の皆さん



クラウチングスタートのトレーニング



瞬発力を向上させるラダートレーニング



ランニングにより体を温めます



男子部長
まるこ
圓子 凌輝君
(6年)

女子部長
うえの
上野 心さん
(6年)



東通村各地区の皆さまから心温まる情報をお届けします。

地元の特派員レポート

レポートは4月に作成し
写真は特派員が
自ら撮影したものです。



ひとみの里での生活

東通村砂子又在住 ほせかほ あづき
東通小学校(6年) 長谷川 愛月さん(12歳)

私は、4年前にひとみの里に引っ越してきました。知らない場所での生活に不安もありましたが、いろいろな地域から来た人も多く、すぐに友達もできました。

住んでみて便利だと思うことは、役場、体育館、診療所が近くにあることです。そしてさまざまなイベントがあることで



役場や体育館



野花菖蒲の里

す。体育館では、私もバレーボールの試合をしました。天井も高く、広くてとてもきれいでした。

また、東通村は四季がはっきりしています。春にはふきのとうや水芭蕉が咲き、ゴールデンウィークには桜が楽しめます。夏には、来さまいフェスタがあって、たくさんの人が集まります。私の弟は授業で真ん中公園やわくわくの森に行つて、秋を楽しんでいました。冬は、小学校まで歩く雪道が大変です。でも太陽の光で雪がきらきらしていて、きれいです。

私がまだまだ知らない事がたくさんある場所ですが、まだまだいい事があると思います。これからもたくさん見つけていきたいです。



東通小学校



真ん中公園



夏場の楽しみ

いした えみこ
東通村入口在住 石田 恵美子さん(50歳)

私のここ5~6年の夏場の楽しみは野牛漁港での「アジ釣り」。休日に主人と息子がたまに行っていた時は、食べる専門でしたが、下の子が高校生頃からちょっと試してみるかな〜と軽い感じでついでにいき始めました。今では天気が良く風のとときは、午後にはそわそわだし、主人が

帰宅後はいつでも行けるように準備万端。漁港までは車で2~3分。釣れる楽しみがあり、

主婦としては夕食の1品が調達できるのはとてもありがたいことです。

時には知合いの漁師さんや親戚などから、魚やイカをもらって、アジじゃないものでストックがいっぱいになります。去年は念願の孫を連れていき、楽しんでくれたのがよかったな。

夕暮れ時の何とも言えない空の色や、毎回違う海の様子に季節を感じます。

今年も漁船の邪魔にならないように、食材調達に行こうと思います。釣れるかなあ…。いや、釣るぞ!



楽しむ孫たち



孫と一緒に釣り



大漁のアジ



美味しくできました!



夕暮れ時の野牛漁港

発行 東北電力(株)東通原子力発電所広報課
〒039-4293 青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下34番4
TEL0175-46-2225・FAX0175-46-2227

しおさい、PSつうしんの
バックナンバーはこちら



誌名「しおさい」について

★東通村で絶えることなく聞こえる心地よい波の音(しおさい)のように、皆さまの心に
末長く心地よく響き続ける広報誌でありたいという思いを込めています。

編集後記

しおさい第24号、いかがでしたでしょうか。

今回の「ふるさと見聞録」では、完成したばかりの集会所で早掛平地区の皆さまからお話を伺いました。取材の中で、「型にとらわれない」「いろいろなことにチャレンジする」と皆さまが同じようにお話しされていたことが非常に印象的でした。また、自分たちの手でバスの待合所やごみ収集箱を作ることができると、いろいろなスキルを持った方がいらっしやることに驚きました。

自分たちでアイデアを出し合い、よりよい集落を作りあげてきた早掛平地区の皆さまの「チャレンジ精神」を見習いながら、今後も東通村の皆さまに親しまれるしおさいの作成に努めてまいります。引き続きご愛読のほどよろしくお願いいたします。